

て遠野市の活性化はなく、人材の確保・堆肥舎など現有施設を有効に活用し農家が安心して参加出来るシステムを確立していただきたいが。

答 繁殖農家が最もリスクを伴う分娩管理委託を担い、負担軽減を図ると共に、有機農業を振興する上で堆肥の有効利用が図られるものと思われる。

問 現状の畜産事情を考えると非常にリスクが高いと考えられる。また、これだけの事業を実施する上での目論見書の作成は。

答 畜産振興には、長い年月がかかるものであり、将来を見据え取り組みたい。また、PPP問題にしっかりと対抗出来る事業であり、事業の着手に合わせ人材の確保を図りたい。現時点での状況を加味したシミュレーションは作成している。

問 肥育事業に参画する事業者は。

答 加工から販売まで行う業者で、6次産業化を目途として連携事業を立ち上げるもので、遠野ブランドを確立したい旨の意向を強くもっている。

災害時における遠野テレビでの手話放送について

問 今般の災害時情報伝達の際、手話通訳が有効に思えた。障害支援法が

成立し情報を伝えるよう定められているが、番組制作上定められているか伺う。

答 特に定めていないが、80%を超える加入率から安心安全の情報を伝達する使命を持っており手話により放送した。

問 手話放送の実施基準は定められているか。

答 番組審議会等により議論しており、検討したい。



今年開局10周年を迎える遠野テレビ

永年の功績を讃える

石橋^{でんぱち}達八議員、河野^{かわの よしのぶ}好宣前議長の両氏が、全国市議会議長会（関谷^{せきたに ひろし}博会長）から表彰および特別表彰を受けました。

今回の表彰は、全国市議会議長会表彰規程に基づき、石橋議員は市議会議員の勤続年数が通算20年以上、また、河野前議長は市議会正副議長として8年以上務められた功績によるものです。

表彰状は、6月15日に日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会第87回定期総会で贈られ、石橋議員には7月22日の市議会臨時会の際に議場で、河野前議長には7月29日にサンパークやなぎで、新田議長からそれぞれ伝達されました。

全国市議会議長会から表彰



表彰状の伝達を受ける石橋達八議員（左）



市議会正副議長通算8年以上で特別表彰を受けた河野好宣前議長